

第1回市民一人ひとりが輝く都市第1分科会 議事要旨

1 開催日時

平成26年1月14日(火) 16時00分～17時00分

2 会場

久留米商工会館 5階大ホール

3 出席委員(順不同)

委員9名

市丸祥子委員、井手信委員、岡リツ子委員、片岡靖子委員、白水美弥子委員、芹田隆子委員、永延桂子委員、堀田富子委員、渡邊由美子委員

4 欠席者

委員2名

北里誠也委員、中山末男委員

5 議事

(1)久留米市新総合計画次期基本計画骨子案について

(2)その他

発言要旨

1. 委員紹介と役員選出等

(1) 委員紹介

■事務局が分科会委員の名前を読み上げ、委員を紹介

(2) 役員選出

■事務局案の提案により分科会長に久留米市障害者地域生活支援協議会会長の片岡靖子委員、副分科会長に久留米市議会議員の堀田富子委員を選出。各委員の拍手により承認される。

○片岡靖子分科会長挨拶

久留米大学の文学部社会福祉学科の片岡靖子と申します。よろしく申し上げます。

○堀田富子副分科会長挨拶

市議会議員の堀田です。会長を補佐しながら今後の久留米市政がよい方向に向かっていくよ

うにやっていきたい。

(3) 自己紹介(各委員の専門分野と関心のある課題等)

○市丸祥子委員

久留米市小学校校長の市丸です。学校教育の方面で意見を出させていただきたいと思う。

○井手信委員

聖マリア学院大学の学院長の井手です。もともとは産婦人科医で、現在は看護の単科大学の学院長と社会福祉法人福成会の理事長を兼務している。いろんな形で市民に貢献できればと思っている。

○渡邊由美子委員

市役所で子ども未来部長をしている渡邊です。子ども未来部は、子育て支援の分野を所管している。昨年4月に厚生労働省より赴任しており、厚生労働行政全体について市の中でどういふふうによくしていくことができるか、またそれを支えるまちづくりとはどういうやり方があるのか、広く考えていきたい。

○芹田隆子委員

子育て支援をやっている芹田です。市の子育て交流プラザで活動している。核家族が進んでおり、ほんの些細なことが大きな悩みにつながり、それが大きな事件につながることもありえる。それを未然に防ぐために、早期発見に努めている。

○白水美弥子委員

中学校で母親委員の副代表をしている。通学区域審議会に参加し、少子化の中で学校をどうしていくかの審議に参加している。また、去年からセーフコミュニティの委員をしている。セーフコミュニティでは主に防犯に関わっており、子どもたちが住みよいまちづくりということで審議をさせていただいている。その分野でも協力したい。

○永延桂子委員

永延です。えがりて久留米というネットワークの中で活動をしている。男女平等のまち久留米をどうやってつくっていくか、何とか変えていきたいと思っている。総合計画についても、まちの半分以上を支えているのは女なのに、女の意見がどうしても取り上げられにくい。どうやって女性の意見を反映させていくかというのが任務だろうと思っている。

○岡リツ子委員

久留米市ボランティア連絡協議会という立場でこの場には出ているが、社会福祉協議会連合会の会長も務めており、地域福祉の分野に深く関わって活動している。ボランティア連絡協議会では、今年から地域型と機能型に分かれて活動するようにしたが、ボランティアをする人はなかなか増えてこない。その点は魅力をもう少し作らなくてはいけないと思うことと、後継者づくりを頑張らなくては、地域は良くならないので、その点をしっかりと進め、活力があるまち久留米をつくっていきたい。また、久留米には良いところがたくさんある。自分の郷土を愛し、自分たちが誇り

が持てるまちづくりを一生懸命やっていきたい。

○堀田富子副分科会長

私は議員になるまでは小学校の教師をしていた。教育についてはもちろん、今、久留米市は子育て支援についてトップクラスを目指しており、市外から入ってこられた方々が「久留米市の子育てサービスはとても充実していますね」と言われる。それが人口増にもつながってきていると思う。障害者福祉については、例えば、私の教え子は子どもが障害をもっていて、久留米の障害福祉のサービスが行き届いているということで、久留米に戻ってきて子育てをしている。先ほど岡委員が言われたように、久留米にはたくさんいいところがある。これからの 20 年 30 年を見据え、そういった子育てや高齢者の福祉、そして教育問題についてしっかりと総合計画の中に生かしていければいいと思う。

○片岡靖子分科会長

私の立場は久留米市障害者自立支援協議会の代表として出席している。関西出身で、京都の急性期病院で産まれる前から亡くなるまで、それから障害のある方、高齢者、認知症など、在宅で 24 時間 365 日介護する方々に関わる、医療ソーシャルワーカーという仕事を 20 年していた。その後、教員になり、現在、久留米大学にいる。個人的な研究テーマではドメスティックバイオレンスや高齢者虐待、児童虐待、障害者虐待、こういう暴力の研究が一つ。それと在宅医療福祉ということで医療と福祉の連携のところを研究したいと思っている。特にターミナルケアについては文科省から研究費をいただき研究をさせていただいている。

3. 議事

(1)久留米市新総合計画次期基本計画骨子案について

■事務局より、久留米市新総合計画次期基本計画骨子案について説明

質疑

○白水美弥子委員

議論の進め方だが、資料の 1、2、3 とテーマがあるが、それを個別に議論していくのか。

■事務局

この骨子案を議論をしていただく方法としては、提案だが、節ごとに見ていただいたほうがいいのではないかと考える。具体的には、節が施策の方向性を示しており、例えば「人権の尊重と男女共同が確立されたまち」を実現する施策として、こちらが示している 4 点の施策でいいのかどうか、それからその施策の内容としてこういう視点でいいのか、そういうような感じでご議論いただければいいと思う。

○白水美弥子委員

節ごとに、この文章でいいのかとか、付け加えるとか、そういうことでいいか。

■事務局

基本的なまとまりとしては節ごとで考えていただけたらいいと思う。この節はこの項目が足りない、項目立てはいいが、ここは内容が不足しているなどという触れ方をしていただけたらいいと思う。

○永延桂子委員

基礎調査報告書を見ていて気になるところが何か所がある。男女共同参画というのは女性の参画を強調してあるが、本当は男性も共に参画できる状況をつくらないことには男女共同参画は進まないという基本的なところで足りないと思うところがある。

212 ページの一番上に「男女が互いに違いを理解し認め合い」という部分がある。ごく普通に聞こえるが、それをやってしまうと、「男は仕事、女は家庭」ということがそのままそこに反映してしまう。もともと目指さなくてはいけないところから遠いところになってしまう。そういうところも目を通した上で次に入っていくようなことをしてほしい。

○片岡靖子分科会長

この調査の結果と骨子案の内容とを、それぞれの委員が突合せたうえで、次回に検討をしたいという提案だったと思う。忌憚ない意見をいただけるよう、事前に基礎調査報告書を読んでいただきたいということだが、よろしいでしょうか。

○永延桂子委員

233 ページまでが私たちの守備範囲ということでした。しかし見ていると272 ページなどに伝統的な家族の問題と核家族の問題とか、男女共同とも関係があるようなことが出てくる。

○片岡靖子分科会長

こちらの分科会でここが気になると、提言ということで出したらいいかも。ということは、それぞれの専門領域の視点で全部読んで来ていただくということになる。

○井手信委員

この第1分科会と第2分科会の違いは何か。

■事務局

第1分科会と第2分科会は分野で分けている。都市像別の体系で「市民一人ひとりが輝く都市」を2つに分けている。「安全で安心して暮らせるまち」から「多様な市民生活が連帯するまち」までが第2分科会、「人権の尊重と男女共同参画が確立されたまち」と、残りの「子どもの笑顔があふれるまち」から「やさしさと思いやりの見えるまち」までが第1分科会ということになる。

○堀田富子副分科会長

「子どもの笑顔があふれるまちづくり」の「未来へつなげる教育の推進」の中に、学力の向上とか豊かな心が出てきている。子どもたちが縛られている雰囲気的印象として受ける。それと関わる場所としては213ページの「文化芸術のまちづくりや子どもの成長に与える効果に対する期待が高まっている。」という部分は大事なので、この中に入れられるのか、それともまた別の分野に入れていくのか。

■事務局

確かに他の部分へ波及する問題がある。副分科会長が言われた部分に関係するのは、12 ペ

ージの「創造的な文化芸術活動の推進」だが、確かに子どもという書き方はしていない。これ自体については文章を膨らませていく段階なので、全てを表現できていないところもある。その点については「こういった視点で記述をすべき」などご意見としていただければと思う。もう一つ、分野をまたいで他の分野でも触れておくべきということもあると思う。そうした部分についても、平行してご意見をいただければと思う。こちらで子どもという部分があるが、文化芸術の部分についても、例えば子どもに重点をおいてやっていくべきだ、そういう場を作っていくべきだ等ということであれば、それを意見としていただきたい。

○片岡靖子分科会長

我々の分野について柱は決まっているが、他分野にも横断している点もあると思うので、その点も視野に入れてご意見をいただきたい。そのためには基礎調査報告書を読み込まないといけませんので、委員の皆様、読んでいただいて、この辺を改善する、こういう視点を入れる、こういった内容で展開したほうがいいのかというようなご意見を次回、活発に出していただけたらと思う。

4. その他

■事務局より、次回分科会の開催日時を調整してお知らせする旨の説明

5. 閉会

○片岡靖子分科会長より、閉会のあいさつ